

保護者等からの児童発達支援事業の評価集計結果(公表)

公表: R4年 3月31日 保護者数16 回答数16 割合100%

記入年月日: 令和4年3月11日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見とその対策
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%	0%	0%	0%	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	88%	13%	0%	0%	PTさんが入ってくれるとうれしいです。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 になっているか。また、障害の特性 に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされているか	88%	13%	0%	0%	本人がまだ生活空間がわかってないので。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	94%	6%	0%	0%	いつもきれいで安心して過ごさせています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 iiが作成 されているか	94%	6%	0%	0%	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	75%	13%	0%	13%	まだ本人の年齢が低いので、地域支援までは不要だと思っています。（今の支援で問題ないです）
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	81%	0%	6%	13%	回数がすくなく、まだ実感としてはまだ先かなと思っています。
	8 活動プログラム iiiが固定化しないよう工夫されているか	88%	0%	0%	13%	いつもいろんな活動してもらえうれしいです。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障害のない子どもと活動する機会がある か	38%	6%	6%	50%	やまぼうしさんではありませんが、一時保育の時に本人は交流していると思います。
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	88%	13%	0%	0%	利用者負担については、あまり説明がなかったと思います。⇒重要事項 説明書では不十分なため、事例を上げて、予測負担金額を説明に入れる
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	94%	6%	0%	0%	
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング iv等）が行われているか	75%	13%	6%	6%	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について 共通理解ができているか	81%	13%	0%	6%	よく話を聞いてもらっています。

	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	75%	6%	0%	19%	利用している際に、とても話しやすい方なので、特別な場がなくても十分に相談できている
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	25%	6%	6%	63%	他のクラスの方と一緒に活動する機会がありますが、保護者の方と話す機会がないので何か機会があればいいとおもいます。⇒今後、父母会や懇談会等、実施出来る範囲で企画を検討いたします。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	69%	6%	0%	25%	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	88%	6%	0%	6%	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	25%	6%	13%	56%	利用してから日が浅いのでわかりません。HPをみていないのでわかりません。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	88%	0%	0%	13%	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	44%	13%	0%	44%	マニュアルやプリントはいただきました。訓練はされていないと思います。⇒消防訓練について、毎年2回ご利用者様の参加を含め実施いたします。感染症対策や、自然災害の休業などの各種基準を職員やご利用者様にも徹底して周知していきます
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13%	6%	6%	75%	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	75%	6%	0%	19%	いつも楽しそうに過ごしています。
	23	事業所の支援に満足しているか	94%	6%	0%	0%	

**(注釈)**

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

**(保護者等の皆様へ)**

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。